

(別記)

## 2020 年度阿賀町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は高齢化が進み、農作業が困難になって離農する農家が増えるとともに、サル等の農作物被害の範囲が広がり、農作物の作付けに対する意欲が低下している。

水稲は担い手（公社等）へ農地集積が進み、担い手の経営面積が増加する傾向にあるが、その弊害としてきめ細やかな栽培管理ができず、品質が年々低下してきている。

また、急傾斜地・排水不良等の条件不利地が多いため、水稲以外の作物の作付けが広がらない現状にある。

### 2 作物ごとの取組方針等

#### (1) 主食用米

##### ア 家庭用米

コシヒカリは中山間地域の立地条件を生かし、付加価値の高い米作りを進め、良食味・高品質を確保するため、食味を重視した米づくりを徹底する。

新之助については、コシヒカリと異なる特徴を持ち、格別感のある米として、コシヒカリと双璧をなすトップブランドとなるよう、生産者要件や食味・品質基準などを徹底してブランド管理に努め、高いレベルで安定した食味・品質を確保する。

##### イ 業務用米

酒米は地元実需者が求める品質・数量を確保するため、生産者やJA等と連携を図り、安定的に供給できる体制の構築を図る。

#### (2) 非主食用米

##### ア WCS 用稲

耕畜連携による高品質な和牛肉生産につなげるため、産地交付金を活用しながら担い手における作付けを推進し、安定的な供給を図る。

##### イ 加工用米

産地交付金の活用により担い手を中心とした作付けを推進し産地化を図るとともに、品質向上を図りつつ、複数年契約の取組により町内の実需者との結びつきを強化し、需要量の確保を図る。

#### (3) 大豆

担い手における作付けを推進し、農地の集積を進めることで、団地化を図る。

#### (4) そば

担い手における作付けを推進し、産地化を図る。また、暗渠、土壌分析、土壌補正、肥料散布により、単収及び品質の向上を図るとともに、町内の実需者と連携し、地産地消の取り組みを進める。

### (5) 高収益作物（野菜等）

地域の特色を生かした山菜類や野菜等の作付け拡大や地元直売所等での販売を推進し、水田の有効活用を図る。

## 3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	517.8	517.8	517.8
新市場開拓用米	0	0	0
WCS用稲	0	0	0
加工用米	61.2	61.0	61.0
大豆	0.7	0.7	0.7
そば	5.0	6.0	6.0
野菜・果樹・山菜	9.1	9.2	9.2

## 4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	目標値	
				前年度（実績）	目標値
1	そば (基幹作物)	単収向上支援	作付面積 10a 当たり収量	(2019年度) 2.7ha (2019年度) 63 kg	(2020年度) 3.0ha (2020年度) 80 kg
2	野菜・果樹・山菜	高収益作物作付支援	作付面積	(2019年度) 1.5ha	(2020年度) 3.0ha
3	加工用米 (基幹作物)	生産拡大支援 (地域内流通)	作付面積 複数年契約率	(2019年度) 61.2ha (2019年度) 100%	(2020年度) 61.0ha (2020年度) 100%
4	そば (基幹作物)	作付支援	作付面積	(2019年度) 4.5ha	(2020年度) 6.0ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内としてください。

## 5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

別紙

## 産地交付金の活用方法の明細

1. 地域農業再生協議会名

阿賀町農業再生協議会
------------

2. 活用予定額の総括表

(単位:円)

協議会等名	配分枠 (A+B)		活用予定額
	当初配分 (A)	追加配分 (B)	
阿賀町農業再生協議会	4,719,000	0	4,680,000

(注)追加配分が未定の段階にあつては、該当箇所を空欄により作成することとします。

3. 活用方法

配分枠

4,719,000円

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価① (円/10a)	面積 (a単位)※3															合計 ② ※5	所要額 ①×② (円)		
				戦略作物							新市場 開拓用米	そば	なたね	高収益作物				雑穀			その他	
				麦	大豆	飼料作物	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	加工用米				野菜	花き・花木	果樹	その他の 高収益作物					
1	単収向上支援	1	10,000										300							300	300,000	
2	高収益作物作付支援	1	10,000											290		10				300	300,000	
3	生産拡大支援(地域内流通)	1	12,000							3,400										3,400	4,080,000	
4	作付支援	1	20,000																			
合計(基幹)※4			実面積							3,400			300			290		10			4,000	4,680,000 ※6
合計(二毛作)※4			実面積																			

- ※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。  
 ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。  
 なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。
- ※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。
- ※3 「面積」は、当初配分により支援を行う用途について記入し、追加配分により支援を行う用途については、追加配分額が未定の段階にあっては空欄としてください。
- ※4 「合計(基幹)の実面積」は、基幹作を対象とした設定の実面積を記入し、「合計(二毛作)の実面積」は、二毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。  
 また、「合計②」欄は、基幹作、二毛作それぞれの実面積の合計を記入してください。
- ※5 ②の合計は、各用途の合計面積を記入してください。
- ※6 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。  
 (注)用途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(個票)」を添付してください。

#### 4. 追加配分を受けた場合の調整方法

追加配分を受けた場合は整理番号3の単価を調整する。単価の上限額は12,000円とする。

#### 5. 所要額が配分枠を超過した場合の調整方法

所要額が配分枠を超過した場合は、整理番号3の単価を調整する。  
また、計算途中での端数処理は行わない。

#### 6. 高収益作物について

注1 産地交付金で支援する作物のうち、高収益作物に該当する作物名(野菜、花き・花木、果樹除く)を記載してください。

注2 収益性のわかるデータを添付してください。

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	阿賀町農業再生協議会		整理番号	1		
使途名	単収向上支援					
対象作物	そば(基幹作物)					
単 価	10,000円/10a					
課 題	<p>転作作物として栽培されてきたが、収量が低い状況であるため、排水対策等の技術対策の普及を進めることで、地産地消の推進するうえで重要なそばの生産拡大及び単収の向上による農家所得の増加を図る。</p>					
目 標			2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
	作付面積 10a当たり収量	目標	—	5.7ha、60kg	2.5ha、75kg	3.0ha、80kg
		実績	5.5ha、53kg	1.7ha、73kg	2.7ha、63kg	—
内 容	そばの生産拡大及び単収向上を推進するため、技術対策を行った面積に応じ助成する。					
具体的要件	<p>対象者:水田活用の直接支払交付金交付申請者で販売目的で対象作物を作付けした者                  対象農地:経営所得安定対策等実施要綱別紙1に定める交付対象水田                  取組要件:播種前の出荷・販売契約の締結または要綱様式第9-4号の「畑作物の直接支払交付金に係る自家加工販売(直売所等での販売)計画書兼出荷・販売等実績報告書」を作成していること</p> <p>次の技術対策のうち、2つ以上を実施すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排水対策を実施すること … 普及率 2割</li> <li>・土壌分析を実施すること … 普及率 1割</li> <li>・土壌PHを補正し、6.0~6.5を目標とし、石灰の散布を播種の1週間前に行うこと … 普及率 2割</li> <li>・適正な量の肥料を散布すること … 普及率 3割</li> </ul>					
取組の 確認方法	<p>助成対象者:営農計画書                  対象農地・作物:営農計画書、現地確認、水田台帳                  取組要件:出荷・販売契約書の写し、要綱様式第9-4号「畑作物の直接支払交付金に係る自家加工販売(直売所等での販売)計画書兼出荷・販売等実績報告書」等</p> <p>排水対策:現地確認                  土壌分析:分析結果証明書                  土壌補正:購入伝票、作業日誌又は作業が確認できる書類                  肥料散布:購入伝票、作業日誌又は作業が確認できる書類</p>					
成果等の 確認方法	<p>作付については9月までに現地確認及び営農計画書により確認                  単収の確認については11月までに町内コンバイン利用者から抽出調査により確認</p>					
備考	成果の確認結果に基づき、次年度に更なる単収向上が図られるよう課題の再検討を行う。					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	阿賀町農業再生協議会		整理番号	2		
用途名	高収益作物作付支援					
対象作物	そうめんかぼちゃ、かぼちゃ、じねんじょ、ラズベリー、にんじん、山菜、野沢菜、エゴマ【基幹作物】					
単 価	10,000円/10a					
課 題	小規模な農家が多品目の野菜を生産しているが、どれも生産量が少ないことから特産品となっていないため、品目を限定することで数量を確保し、直売所等への販売を行い、地産地消の推進及び対象作物の生産拡大を図る。					
目 標			2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
	作付面積	目標	—	9.0ha	2.3ha	3.0ha
		実績	8.9ha	1.5ha	1.5ha	—
内 容	対象作物の生産拡大を推進するため、作付面積に応じ助成する。					
具体的要件	<p>対象者: 水田活用の直接支払交付金交付申請者で販売目的で対象作物を作付けした者</p> <p>対象農地: 経営所得安定対策等実施要綱別紙1で定める交付対象水田</p> <p>取組要件: 出荷・販売を行うこと</p>					
取組の 確認方法	<p>対象者: 営農計画書、水田台帳により確認</p> <p>対象農地: 営農計画書、ほ場位置図、水田台帳、現地確認等による</p> <p>出荷販売実績: 出荷・販売の伝票等による</p>					
成果等の 確認方法	作付については7月までに現地確認及び営農計画書により確認					
備考	成果の確認結果に基づき、次年度に更なる生産拡大が図られるよう課題の再検討を行う。					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	阿賀町農業再生協議会		整理番号	3		
用途名	生産拡大支援(地域内流通)					
対象作物	加工用米(基幹作物)					
単 価	12,000円/10a(上限額12,000円/10a)					
課 題	地域内の実需者が要望している加工用米を町内だけで確保できないため、複数年契約を推進しながら町内での加工用米の安定的な確保を図る。					
目 標			2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
	作付面積 複数年契約率	目標	-	56.4ha、90%	61.0ha、100%	61.0ha、100%
		実績	61.6ha、78%	59.2ha、100%	61.2ha、100%	-
内 容	加工用米の安定的な需給体制を構築し、生産拡大を推進していくため加工用米の複数年契約(2018～2020産年産まで、2019～2021年産まで)に基づき生産を行った農業者に対して助成を行う。					
具体的要件	<p>対象者:水田活用の直接支払交付金交付申請者で加工用米の複数年契約に基づき生産に取り組む農業者又は自家加工用米生産者</p> <p>対象農地:経営所得安定対策等実施要綱別紙1に定める交付対象水田</p> <p>取組要件:加工用米取組計画の認定を受けていること 加工用米の複数年契約を締結していること 自家加工用米生産者については、要領別紙3-18号「加工用米の適正使用に関する誓約書」及び要領別紙3-4号「加工用米自家加工販売計画書」の提出があること</p> <p>その他:複数年契約の途中で契約履行ができない者が出た場合、その契約を代行し、加工用米を生産する農業者も交付対象とする。</p>					
取組の 確認方法	<p>対象者:複数年契約書の写し、「加工用米の複数年契約に係る生産者名及び生産予定数量等一覧」の写し、「加工用米の適正使用に関する誓約書」の写し</p> <p>対象農地:営農計画書、ほ場位置図、水田台帳、現地確認等による</p> <p>助成対象面積:複数年契約書に記載された当該年度の生産予定面積 なお、自家加工用米生産者の場合は、要領別紙3-4号「加工用米自家加工販売計画書」に記載された当該年度の生産計画面積</p> <p>取組要件:現地確認、作業日誌、加工用米取組計画認定結果通知書、加工用米出荷契約等数量農業者別一覧表、複数年契約書の写し、加工用米の複数年契約に係る生産者名及び生産予定数量等一覧の写し、加工用米の適正使用に関する誓約書の写し、加工用米の自家加工販売者に係る生産・加工販売の実績・計画についての写し、加工用米生産集出荷数量一覧表</p>					
成果等の 確認方法	<p>作付面積については12月までに加工用米生産集出荷数量一覧表により確認</p> <p>複数年契約率については12月までに加工用米生産集出荷数量一覧表及び複数年契約書の写しにより、加工用米集荷数のうち複数年契約された数量を確認</p>					
備考	<p>成果の確認結果に基づき、次年度に更なる複数年契約率の向上が図られるよう課題の再検討を行う。</p>					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。



産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	阿賀町農業再生協議会			整理番号	4	
使途名	作付支援					
対象作物	そば(基幹作物)					
単 価	20,000円/10a					
課 題	担い手が不足している状況から、生産量が確保できず、地元実需者は他の地域から購入している状況であり、地産地消の推進で必要となるそばの生産者の増加により、生産量の拡大を図る。					
目 標			2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
	作付面積	目標	—	5.7ha	5.0ha	6.0ha
		実績	5.5ha	3.4ha	4.5ha	—
内 容	そばの生産拡大を推進するため、作付面積に応じ助成する。					
具体的要件	<p>対象者:水田活用の直接支払交付金交付申請者で販売目的で対象作物を作付けした者</p> <p>対象農地:経営所得安定対策等実施要綱別紙1に定める交付対象水田</p> <p>取組要件:播種前の出荷・販売契約の締結または要綱様式第9-4号の「畑作物の直接支払交付金に係る自家加工販売(直売所等での販売)計画書兼出荷・販売等実績報告書」を作成していること</p>					
取組の 確認方法	<p>助成対象者:営農計画書</p> <p>対象農地・作物:営農計画書、現地確認、水田台帳</p> <p>取組要件:出荷・販売契約書の写し、要綱様式第9-4号「畑作物の直接支払交付金に係る自家加工販売(直売所等での販売)計画書兼出荷・販売等実績報告書」等</p>					
成果等の 確認方法	作付については9月までに現地確認及び営農計画書により確認					
備考	成果の確認結果に基づき、次年度に更なる生産拡大が図られるよう課題の再検討を行う。					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

(参考)

## 産地交付金助成イメージ図(阿賀町農業再生協議会)

【そば】	
取組個票番号	支援単価
整理番号1	(10,000円/10a)
整理番号4	(20,000円/10a)
	30,000円/10a

(注1) 都道府県及び各地域再生協議会で該当する作物について適宜作成

(注3) 積み上げになる可能性のない設定は記載不要